



岡崎市 暮らしの相談担当者

原のりひこ  
公式サイト



# 原のりひこ

担当者レポートNo20

発行日：2025年10月31日  
発行所：トヨタ自動車労働組合  
発行人：飯田 智士  
編集人：原 紀彦  
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

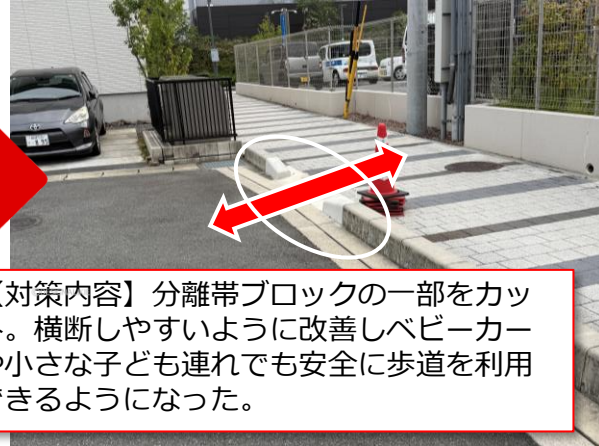
## 暮らしの相談活動 暮らしの相談トークで挙げられたお声をご紹介します！

### 【相談内容】

自転車・ベビーカー・三輪車などが、分離帯ブロックのために約100m先の合流地点まで車道を通行せざるを得ない状況となっている。特にベビーカーや小さなお子さんの三輪車が車道を通ることになり、危険性が高い。



この部分を通れるようになれば、リスク回避を軽減できる。



【対策内容】分離帯ブロックの一部をカット。横断しやすいように改善しベビーカーや小さな子ども連れでも安全に歩道を利用できるようになった。

### 【相談内容】

江口3丁目交差点の信号灯が朝夕の通勤時間帯に太陽の逆光で点灯が非常に見えにくく、事故の危険性が高い。



山口たけし 県議

山口たけし県議と連携し、令和7年度事業において、信号灯器のLED化を実施が決定。

## その他 議会・地域貢献・要望・研鑽等 さまざまな活動を行っています



トヨタRCフェスティバル



三菱自動車野球部壮行会



しげとく和彦衆院議員懇談会



岡崎市議会 9月定例会一般質問



地域敬老会



期初研修ご挨拶

# 岡崎市市議会 令和7年6月定例会

## 一般質問で登壇

9月定例会一般質問が1日(月)～4日(木)までの間で行われました。私は2日(火)の一番バッターとして登壇し「不燃ごみ・資源物について」、「上下水道事業について」市の考えを質問しました。

★一般質問とは、市議会議員が自らの問題意識や市民から寄せられた声をもとに、市に対して直接質問を行うことができ、岡崎市議会では、定例会の4月以外の年3回登壇できます。



### 質問 不燃ごみ・資源物について

持ち去り行為に対する本市の対応状況と、今後はどのようにして持ち去り行為を抑制していくのか伺う。



答弁

不燃ごみの収集日に該当地区を車両で巡回する、あるいは該当地区のステーションで一定時間、立哨することなどを委託してきたが、効果的な策とはならなかった。そのような経緯を踏まえて、**近年では職員が行為者に直接、指導等するよう対応方針を改め、岡崎警察署に御協力いただき、情報共有しながら定期的にパトロールを実施しており、今後も継続していく予定**でいる。

また、持ち去り行為に関する通報や目撃された車両のナンバーから行為者を特定するなどの抑止対策に取り組んでいる自治体の事例を調査・研究するほか、**不燃ごみの収集時間を見直すことも視野に入れて、持ち去り行為の抑制に努めていく**。

### 質問 上下水道事業について

令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて、国が実施を要請した下水道管路の全国特別重点調査について、本市の状況を伺う。

答弁

今年度実施する下水道管路の全国特別重点調査では、水管50メートル、雨水管14キロメートル、合流管1.2キロメートルの約15キロメートル、及びマンホール199箇所の目視での調査を行う。**調査は令和7年7月14日から調査を開始し、令和7年9月末の完了を予定**している。

【議案数】 58件 【一般会計補正予算】 約12億8千万円

### 公共施設使用料の見直し

公の施設の使用料の額などを改定するほか、児童育成センターの持続的な運営を図るため、育成料の基本額を見直します。



### 次世代自動車購入費補助

ガソリン車からEV・PHEVへ買い替えを行った際に、岡崎産の再生可能エネルギー由来の電気を使用する場合、1台あたり45万円を補助します。



### 岡崎市病院事業の料金に関する条例の一部改正

特別個室の使用料を下げることにより利用率の増加を図り、光熱水費の高騰による経費負担を抑制する為、一般個室及び緩和個室の使用料を8%改定します。また、人件費の高騰に対応するため、診断書等の手数料を現行の1.47倍程度に改定されます。



### 自主防災活動支援

避難所の避難生活の安定を図るため、必要となる備蓄品（簡易ベット・携帯トイレ・非常用毛布）を譲与します。



### 空き巣や自動車盗などの被害に対する緊急対策

- ①住宅取付用防犯用具購入補助  
防犯カメラ、センサーライト 購入額の1/2上限1万5千円
- ②自動車取付用防犯用具購入補助  
ハンドルロック、タイヤロック 購入額の1/2上限1万円

- ③その他防犯用具購入補助  
自転車ロック、防犯砂利、位置情報特定装置、防犯ブザー 購入額の4/5上限5千円



くらしの相談 岡崎市担当者 **岡崎市議会議員**  
**原 のりひこ** **主な公約と取組**  
 (2024年10月26日 ~ 2028年10月) \*2025年9月末時点

公式HPはこちらをクリック

LINE公式アカウントはこちらをクリック



\*進捗状況：100%:全域に展開、75%:一部実施、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、10%:市長へ要望済、0%:動きなし

**取組内容の補足を掲載していきます**

大分類	取組テーマ	テーマに対する取組内容	進捗状況
まちづくり 「安全」で 住みやすい	地域と行政一体の防災活動、防災対策の強化	○防災ポータルサイトの利便性向上と防災情報の確実な提供体制強化。	
	渋滞緩和につながる道路環境の整備	○防災備蓄品の充実 <b>1</b> ○ファーストミッションボックスの周知・訓練と避難生活支援リーダー/サポーターの育成支援 <b>2</b> ○基幹道路の岡崎環状線、矢作川右岸南北道路の整備	  
まちづくり 「安心」して 快適に暮らせる	医療、子育て、教育、福祉の充実	○18歳までの医療費助成の拡大（自己負担額の減額） ○災害時要配慮者などの方が安心して避難できる福祉避難所を設置。 <b>3</b>	 
	公共交通体系の充実	○学校体育館への空調設備の設置、待機児童育休退園の解消。 ○基幹交通の充実と地域内交通の充実に向けた支援。	 
まちづくり 「活力と魅力」 あるまちづくり	地球環境保全の推進	○カーボンニュートラル実現に向けた取り組み推進	
	遊び場の充実	○全天候型大型遊戯施設の整備。 <b>4</b>	
	行政サービスの充実	○マイナ免許証・マイナ保険証への切り替え周知およびシステム不具合の早期改修。 ○運転士不足解消に向けた、自動運転早期実装の推進。	 

**1** 町内会の公民館などの分散避難施設等に簡易ベッド8台、携帯トイレ200回分、非常用毛布20枚を配布し避難所生活の安定を図ります。

**2** 国から「避難所生活支援リーダー/サポーター」研修モデル事業として採択され、災害時の避難所生活の環境向上に貢献できる地域人材の育成を図るためオンデマンド口座および演習を実施。

**3** 一般質問のテーマとして「福祉避難所の設置」に向けた提言を行い、進めて行く旨の答弁を引き出しました。

【答弁】 今後、福祉避難所の指定に向けて、検討を行うとともに、要配慮者への支援体制強化も進めて行く。

**4** 以前より要望を出していた地域文化広場（おかざき世界子ども美術博物館）に大屋根がついに完成します！  
供用開始は、2025年11月予定になります。